

# 4年間のカリキュラム

1年次

2年次

3年次

4年次

## 導入期

環境学への入口として、「リベラルアーツとしての環境学原論」「環境科学入門」「環境フィールドスタディ」といった必修科目を履修。さらには選択科目として、環境課題の多角的なとらえ方や、社会科学・自然科学それぞれの基礎を学ぶ「基幹科目」によって、環境を学ぶ下地を身につけます。

## 形成期

人文社会科学・自然科学の様々な分野を含む50以上の「発展科目」から、自らの関心に応じて選択し、環境問題や持続可能な社会に対する視野を広げつつ、専門性を深めていきます。また、国内外の“現場”により深く入り込んだり、野外活動スキルを習得したりする「実践科目」で実践力を養います。

## 完成期

学びの集大成として、3年次の「専門演習」で自らの関心に応じて選んだ分野の学びを深めたうえで、学術的な研究と論文執筆に取り組む「卒業論文」か、環境課題の解決につながる活動に取り組む「卒業プロジェクト」のいずれかを選ぶことができます。また、全学生が交流する「環境コロキウム」で、それぞれの視座・視点のつながりを考え、「対話」と「協働」のスキルを磨きます。



必修科目	● リベラルアーツとしての環境学原論1 ● 環境科学入門1 ● 環境フィールドスタディ1	● リベラルアーツとしての環境学原論2 ● 環境科学入門2		
基幹科目	<b>基幹科目A: 環境総合</b> ● 気候変動とカーボンニュートラル ● 生物多様性とネイチャーポジティブ ● 環境汚染・公害とわたしたちの社会 ● 資源循環とサーキュラーエコノミー など	<b>基幹科目B: 人間と社会</b> ● 自然環境と人間社会 ● 環境倫理 ● 環境教育・ESDとシティズンシップ ● 環境法入門 ● 環境政策・経済学入門 など	<b>基幹科目C: 科学と技術</b> ● 環境統計学基礎 ● 環境物理学基礎 ● 環境化学基礎 ● 環境生物学基礎 ● 環境地学基礎 など	
発展科目		● 環境史 ● 環境とアート ● 国際環境法 ● 環境行政法 ● 環境ガバナンス ● 市民参加と合意形成 ● 環境と国際経済	● 気候・エネルギー政策論 ● 環境マーケティング ● 環境社会学 ● 環境アクションと市民社会 ● 環境の紛争解決学 ● 社会変革の環境教育学・ESD論 ● 参加と対話のファシリテーション	● 持続可能な開発と国際協力 ● 分子生物学 ● 地球流体力学 ● 環境数値解析 ● 環境毒性学 ● 環境化学実習
実践科目	● 環境リーダーシップEL1	● 環境リーダーシップEL2	● 短期／長期フィールドワークA～E ● 短期／長期ワークエクスペリエンスA, B ● プロジェクト実習A～D	● アウトドア実習A, B ● インタープリテーション実習 など
卒業論文・プロジェクト関係科目			● 専門演習1・2	● 卒業論文・プロジェクト演習1・2 ● 卒業論文 ● 卒業プロジェクト ● 環境コロキウム1・2

### 導入科目

- 大学への数学
- 大学への化学
- 大学への物理学
- 大学への生物学

### 英語による科目

- Environmental Issues in Japan and the World
- Special Topics in Environmental Studies1～4
- Environmental Field Study in English など

## Keyword

### 環境正義 (Environmental Justice) とは

人々の暮らしやあらゆる生命に様々な悪影響を及ぼす気候変動や公害などの環境問題について、特に社会的、経済的に弱い立場におかれている人がより深刻な被害を受けやすいことを認識し、公正な社会と環境の保全をともに実現することが必要だとする考え方。世界の隣人を愛し、苦しむものへの共感性を育むことを理念とする立教大学の環境学部は、「環境正義」を追求します。

## Pickup 授業

### リベラルアーツとしての環境学原論

環境学の多様なアプローチとその関係性を、初年次の1年間を通して学びながら、様々な専門性を持つ学部教員と学生のそれぞれが、環境問題の解決と持続可能な社会の実現に向けてどのような役割を担うのかをともに考える必修科目です。連携地域や企業等から招くゲストによる現場からの報告と、それに対する多様な学問的視点からの応答などを通じ、現実と学問のつながりをとらえながら、学生が自らの関心を発見し、一人の地球市民としてのあり方を考える機会となります。



### 環境リーダーシッププログラム (EL1～EL4)

地域や企業等と連携した課題解決型学習「環境リーダーシップEL1」、思考法やコミュニケーションなどを学ぶ「環境リーダーシップEL2」では、初年次生全員が少人数クラスに分かれ、持続可能な社会づくりを進めていくうえでなくてはならない「対話」と「協働」を導くリーダーシップを育みます。2年次以降、希望する学生が履修する「環境リーダーシップEL3」、「環境リーダーシップEL4」では、「他者のリーダーシップを開発する」・「自分らしいリーダーシップを開発する」をテーマに学びを進展させます。



### 環境フィールドスタディ

初年次生全員が少人数グループに分かれ、異なる専門性を持つ複数の教員とともに国内の地域を訪れます。実際の地域課題や現地の自然環境をテーマに、現場の取組と人々から学び、講義や演習で学ぶ知識やスキルと実社会とのつながりをとらえつつ、環境課題に対する多角的な視点・視座を育みます。最終的に、すべてのグループが集まり、自分たちが訪れた地域とそこでの学びを発表し交流する報告会を実施します。

